

九州国立病院機構診療放射線技師会 平成 29 年度 南九州地区研修会

平成 29 年 9 月 2 日 (土)

独立行政法人 国立病院機構宮崎東病院 大会議室

- 11 : 45 受付
- 12 : 15 開会の辞 宮崎県理事 柿木 正浩
- 12 : 18 担当施設技師長挨拶 柿木 正浩 (宮崎東病院)
- 12 : 20 ランチョンセミナー 座長 橋本 修 (宮崎東病院)

『 富士フィルムジェネリック医薬品の紹介 』

武田テバファーマー株式会社
営業・マーケティング本部Gx営業統括部
造影剤担当 平田 勝久 先生

～ 5分休憩 ～

- 13 : 10 ワークステーション ハンズオン セミナー

『 臨床現場に直結するワークステーションテクニック 』

近年、ワークステーションの目覚ましい進化に伴い、臨床現場の幅広い分野において3次元画像の有用性が増え、ますます注目されています。

今回は、事前にアンケートで頂いた、日ごろ皆様が抱いている、画像処理業務での疑問点のレクチャーを始め、臨床・救急・IVR・手術支援画像等に直結するテクニック、また協賛4社の最新技術情報をハンズオンセミナーを通して、習得して頂こうと企画しました。今回のセミナーにより、一人でも多くの患者様の笑顔につながる、より診断に有用な画像提供の一助になれば幸いです。

- ① 株式会社 AZE ② アミン株式会社
- ③ 富士フィルムメディカル株式会社 ④ テラリコン・インコーポレイテッド

(セミナー会場は、11:00 から解放しておりますので、開会前も自由にレクチャー可能です。
是非ご活用下さい。)

～ 5分休憩～

セッション1

座長 白木 利明 (指宿医療センター)

- ① 電子カルテ、RIS 導入による遠隔読影システム連携について

麥田 計介 (指宿医療センター)

- ②放射線科システムにおけるタブレット端末の活用について

下新 和仁 (宮崎東病院)

- ③骨塩定量検査時の異物が与える影響について

高橋 亨 (都城医療センター)

- ④放射線治療における人工呼吸器装着患者への対応

瀬戸西 徳人 (南九州病院)

セッション2

座長 麥田 計介 (指宿医療センター)

- ① MRI 検査における鉄剤の影響

築淵 和真 (都城医療センター)

- ② 脈波同期 4D Phase Contrast Angiography における頸胸部 MRA の描出

村山 淳一 (鹿児島医療センター)

- ③ Perpendicular View における術前計測角度と術中留置角度の誤差について

平川 遼 (鹿児島医療センター)

- ④ ハイブリッド手術室における放射線技師の役割

田上 俊平 (鹿児島医療センター)

～ 5分休憩～

16 : 15 県理事連絡事項 (協議事項)

宮崎県理事 柿木 正浩 鹿児島県理事 福居 重和

16 : 30 会長活動報告

九州国立病院療養所放射線技師会会長 田畑 信幸

17 : 00 専門職連絡事項

九州グループ医療課放射線専門職 折田 信一

17 : 30 閉会の辞

鹿児島県理事 福居 重和

18 : 30 意見交換会